キクとイサム（1959）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 116分
初公開日 1959/03/29
公開情報 松竹

【解説】
水木洋子のオリジナル脚本を今井正が監督し映画化。会津磐梯山の農村を舞台に、戦後日本の人種差別を真正面から描いたドラマ。小学校六年のキクと四年のイサムは黒人と日本人のハーフで、祖母のしげに育てられていた。二人は、町へ出れば好奇の目にさらされ、学校へ行けば「クロンボ」と罵られた。ある日、カメラを持った男が村を訪れ、イサムの写真を撮っていった。気になったキクはしげにそのことを告げるが、しげは姉弟のどちらかを養子縁組に出すと言い出す。

【クレジット】
監督 今井正
製作 角正太郎
伊藤武郎
企画 市川喜一
脚本 水木洋子
撮影 中尾駿一郎 Shunichiro Nakao
美術 江口準次
音楽 大木正夫
録音 安恵重遠
出演 高橋エミ子
奥の山ジョージ Okunoyama George
北林谷栄
三国連太郎
織田政雄
多々良純
三井弘次

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.